

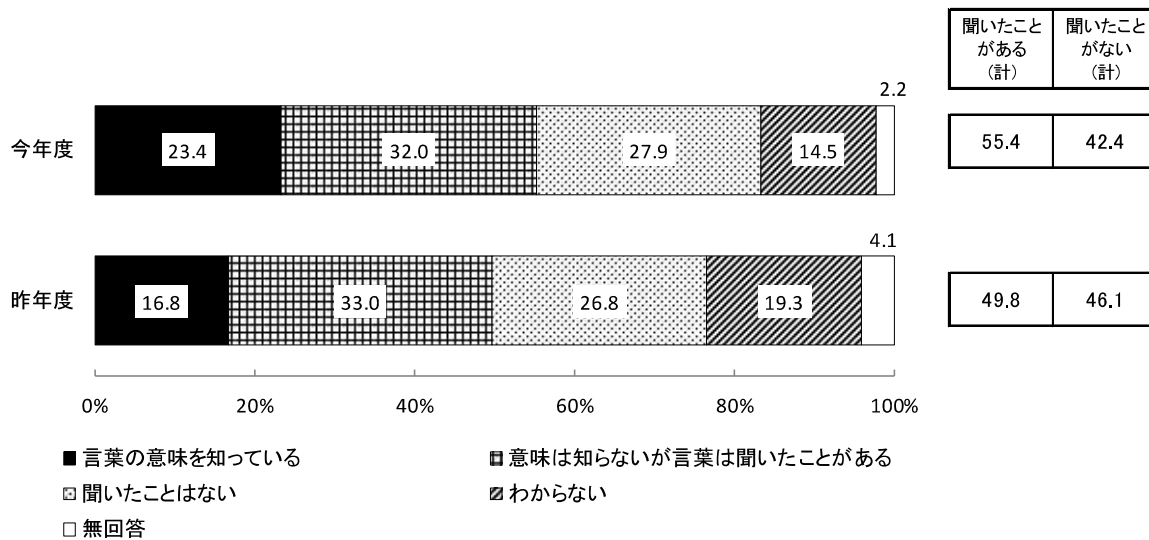
## 1 1. 生物多様性について

### 1 1－1. 「生物多様性」の認知状況

**Q 1 1－1** あなたは、「生物多様性(※)」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ)

※生物多様性:生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。

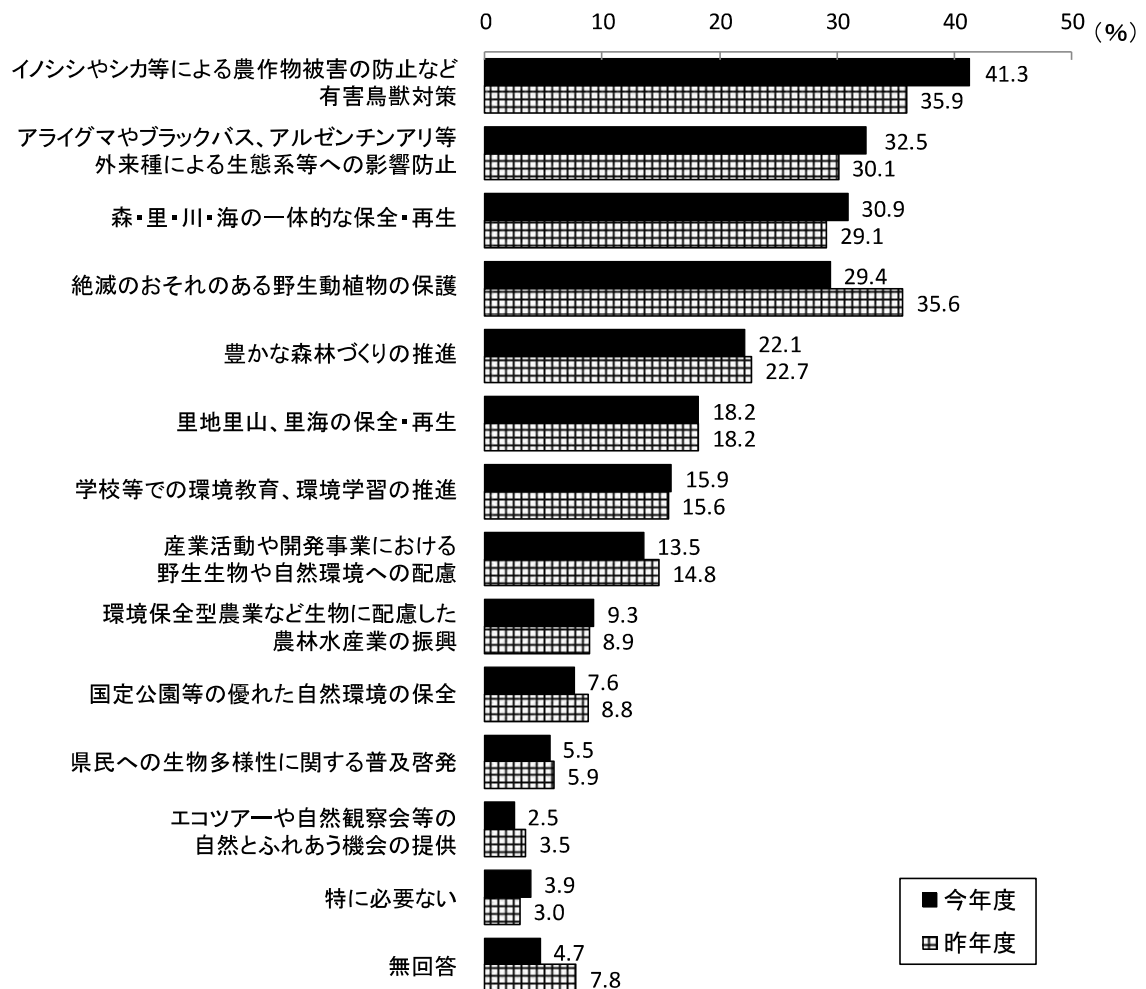
この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。



「生物多様性」の認知状況について、「言葉の意味を知っている」が 23.4%、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が 32.0%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがある (計)』は 55.4%となっている。また、「聞いたことはない」が 27.9%、「わからない」が 14.5%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがない (計)』は 42.4%となっている。昨年度と比較すると、『聞いたことがある (計)』は 5.6 ポイント上昇し、『聞いたことがない (計)』は 3.7 ポイント低下している。

## 11-2. 生物多様性を守るために必要な取組

Q 11-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)



生物多様性を守るために必要な取組について、「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が41.3%と最も高く、次いで「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」が32.5%、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が30.9%、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が29.4%の順となっている。昨年度と比較すると、「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が5.4ポイント、「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」が2.4ポイントそれぞれ上昇し、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が6.2ポイント低下している。